

要 望 書

戸越公園駅周辺地区は、東急大井町線戸越公園駅を中心に、活気とにぎわいのある商店街が南北に連なるとともに、戸越公園周辺には、文庫の森、ゆたか図書館、戸越体育館などの公共施設が多数立地するなど、利便性が高く非常に魅力のある地区です。

その一方で、地区内には六ヶ所の踏切が連続して存在しており、このうち、一日あたりの踏切歩行者等交通遮断量が十万を超える歩行者ボトルネック踏切が存在するなど、踏切事故の危険性、市街地の分断、災害時の避難に支障となるなど、まちの魅力低下の一因となっています。

連続立体交差事業は、多数の踏切を同時に除去することによって、これらの課題を一举に解消するとともに、交通利便性や防災性の向上など、地域の活性化に資する非常に効果の高い事業です。

そうした中、東京都においては、平成二十八年三月に戸越公園駅付近を連続立体交差事業の事業候補区間に位置づけ、鉄道立体化の可能性について調査検討を進めており、その実現に向けて地域住民の期待も高まっています。

また、品川区においても、鉄道立体化の早期実現に向けて、将来の戸越公園駅周辺におけるまちづくりを検討するため、令和元年七月より「東急大井町線立体化促進ワーキンググループ」を設置し、地域住民と具体的な方策や整備内容等について意見交換を行っています。

さらに、令和二年一月には、今後のまちづくりの基本的な考え方を取りまとめた「戸越公園駅周辺まちづくりビジョン基本計画編」を策定し、駅周辺の基盤整備や駅前広場の検討を地域住民と一丸となって進めています。

戸越公園駅周辺地区のまちづくりの目標である「安心して暮らせる活力ある地域生活拠点」を形成するためには、鉄道の立体化が不可欠であり、是非とも本要望にご理解いただき、地域住民の悲願である鉄道立体化の事業化に向けた取組みを着実に推進していただきますよう、次の事項を要望いたします。

記

- 一 東急大井町線戸越公園駅付近の連続立体交差事業の早期事業化を図ること
- 一 鉄道立体化に合わせた駅周辺の基盤整備及びまちづくり関連の事業推進に必要な支援を講じること

令和二年三月二十五日

品川区長

濱野 健



戸越公園駅周辺まちづくり協議会 会長

高村 幸弘



東京都知事 小池 百合子 様

